

| 出場予定選手 | | | | | |
|--------|----|-----------|----|-----|--|
| 地区 | 級班 | 氏名 | 府県 | 期別 | |
| S級S班 | SS | 眞 杉 匠 | 栃木 | 113 | |
| | SS | 寺 崎 浩 平 | 福井 | 117 | |
| | SS | 古 優 作 | 大阪 | 100 | |
| 北日本 | S1 | 嵯 嵐 昇吾郎 | 青森 | 113 | |
| | S1 | 佐 藤 友 和 | 岩手 | 88 | |
| | S1 | 中 野 慎 調 | 岩手 | 121 | |
| | S1 | 和 田 圭 実 | 宮城 | 92 | |
| | S1 | 櫻 井 正 孝 | 宮城 | 100 | |
| | S1 | 佐々木 雄 一 | 福島 | 83 | |
| 関 東 | S1 | 佐々木 悠 葵 | 群馬 | 115 | |
| | S1 | 坂 井 洋 一 | 栃木 | 115 | |
| | S1 | 宿 口 陽 洋 | 埼玉 | 91 | |
| | S1 | 久木原 久 洋 | 埼玉 | 97 | |
| | S1 | 武 藤 龍 生 | 埼玉 | 98 | |
| | S1 | 黒 沢 征 治 | 埼玉 | 113 | |
| 南関東 | S1 | 森 田 一 郎 | 埼玉 | 125 | |
| | S1 | 佐々木 雄 龍 | 神奈 | 109 | |
| | S1 | 新 田 康 仁 | 静岡 | 74 | |
| 中部 | S1 | 渡 達 雅 康 | 静岡 | 117 | |
| | S1 | 笠 松 信 幸 | 愛知 | 84 | |
| | S1 | 額 繁 伸 翔 | 愛知 | 121 | |
| 近畿 | S1 | 上 田 国 広 | 三重 | 89 | |
| | S1 | 山 田 久 德 | 京都 | 93 | |
| 中四国 | S1 | 岡 崎 智 哉 | 大阪 | 96 | |
| | S1 | 河 端 朋 之 | 岡山 | 95 | |
| | S1 | 松 浦 悠 壮 | 広島 | 98 | |
| | S1 | 黒 漸 露 太 郎 | 広島 | 123 | |
| | S1 | 阿 竹 智 史 | 徳島 | 90 | |
| | S1 | 木 田 隆 哲 | 徳島 | 91 | |
| 九 州 | S1 | 小 川 文 太 | 徳島 | 111 | |
| | S1 | 坂 本 健 太 郎 | 福岡 | 86 | |
| | S1 | 北津留 翼 | 福岡 | 90 | |
| | S1 | 市 橋 司 優 人 | 福岡 | 103 | |
| | S1 | 岩 谷 拓 磨 唐 | 福岡 | 115 | |
| | S1 | 荒 井 崇 長 嶽 | 長崎 | 82 | |
| 北日本 | S2 | 瀬 戸 伸 一 | 長崎 | 107 | |
| | S2 | 伊 藤 大 志 | 青森 | 86 | |
| | S2 | 立 花 昌 也 | 青森 | 123 | |
| | S2 | 庄 子 信 弘 | 宮城 | 84 | |
| | S2 | 三 浦 朔 大 宏 | 宮城 | 98 | |
| | S2 | 相 泽 政 宏 | 宮城 | 99 | |
| 関 東 | S2 | 根 本 哲 斎 | 秋田 | 97 | |
| | S2 | 田 口 勇 介 | 秋田 | 119 | |
| | S2 | 青 森 伸 介 | 福島 | 87 | |
| | S2 | 小 野 木 涼 大 | 福島 | 91 | |
| | S2 | 鈴 佐 宝 介 | 福島 | 115 | |
| | S2 | 比 佐 宝 介 | 福島 | 121 | |
| 南関東 | S2 | 伊 藤 龍 己 | 山梨 | 98 | |
| | S2 | 依 田 龍 朔 | 山梨 | 123 | |
| | S2 | 小 林 潤 大 介 | 群馬 | 75 | |
| | S2 | 小 林 貴 賀 | 群馬 | 79 | |
| | S2 | 相 松 広 広 | 茨城 | 93 | |
| | S2 | 江 池 千 啓 宏 | 茨城 | 123 | |
| 中部 | S2 | 千 口 康 宏 | 栃木 | 76 | |
| | S2 | 太 田 康 純 | 栃木 | 119 | |
| | S2 | 桑 名 龍 優 | 埼玉 | 101 | |
| | S2 | 山 口 多 聰 | 埼玉 | 117 | |
| | S2 | 安 倍 大 成 | 埼玉 | 121 | |
| | S2 | 鈴 木 輝 大 | 東京 | 113 | |
| 近畿 | S2 | 鈴 木 薫 | 東京 | 115 | |
| | S2 | 毛 克 幸 | 千葉 | 84 | |
| | S2 | 田 中 晴 基 | 千葉 | 90 | |
| | S2 | 花 田 将 司 | 千葉 | 99 | |
| | S2 | 鈴 木 露 太 | 千葉 | 119 | |
| | S2 | 東 龍 介 | 神奈 | 96 | |
| 中四国 | S2 | 新 村 篤 | 神奈 | 119 | |
| | S2 | 塙 島 嵩 一 郎 | 神奈 | 125 | |
| | S2 | 長 田 龍 拳 | 静岡 | 117 | |
| | S2 | 仁 藤 秀 仁 | 静岡 | 117 | |
| | S2 | 神 田 敏 冬 | 静岡 | 123 | |
| | S2 | 鈴 木 伸 之 | 愛知 | 87 | |
| 九 州 | S2 | 横 田 開 裕 | 岐阜 | 99 | |
| | S2 | 山 庫 一 樹 | 岐阜 | 125 | |
| | S2 | 栗 田 拓 海 | 富山 | 121 | |
| | S2 | 小 野 嶋 敏 | 石川 | 74 | |
| | S2 | 北 神 田 龍 | 石川 | 78 | |
| | S2 | 清 水 刚 夫 | 三重 | 105 | |

出場予定選手

PICK UP
THE SAITAMA RACERS 頑張れ埼玉レーサーズ

地元バンクで大暴れ必至!!

地元埼玉勢は総勢10名がエントリー。その中で一番高い競走得点を誇っている。近況の成績は高いレベルで安定しており、500バンクの当地なら展開不問で突っ込める。地元のアドバンテージがあるだけに、決勝進出が最低のノルマだろう。地元エースの役割をきっちり果たして、GⅢ初制覇に挑む。

S1 武藤 龍生
98期

の役割

当地記念は毎年のように活躍しているが、優勝にはまだ手が届いていない。8月西武園記念は惜しくも準V。その後の成績は少し物足りないものの、この大会に照準を合わせて、万全の状態に仕上げてくるはずだ。信頼して任せられる関東の機動型が多く、腕の見せどころ。ファンの声援を後押しに全力で戦い抜く。

S1 宿口 陽一
91期

S1 森田一郎 125期
5月京王閣F1の落車で骨盤骨折の大けがを負ったが、8月に復帰してからは一戦ごとにリズムを回復している。12月末のヤンググランプリへの出場が決まり、そこに向けて脚も気持ちも高まっている。26年1月には初のS級1班昇格を果たす。飛躍の年にするためにも大事な初戦で結果を出したい。

秋頃から成績が急上昇している。11月小田原GⅢの準決勝は中団確保から豪快にまくって波乱を演出。通算2度目のGⅢ優出を果たした。ワットバイクなど室内練習を取り入れ、練習方法を見直したことが奏功している。近況は番手回りも増えているが、器用にこなしている。ホームバンクで上位進出に期待。S2

S2 一戸 康宏
101期

ヤングレーサーを狙え

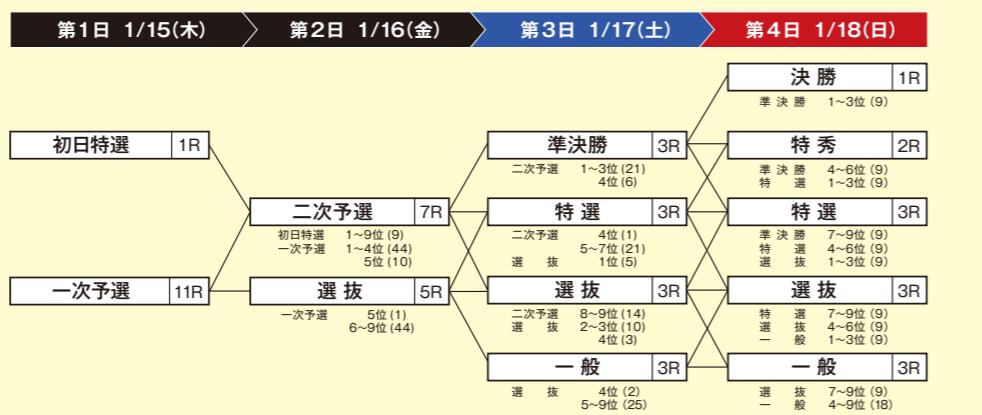
塙島嵩一朗(神奈川 125期 S2)

6月にS級特別昇級を果たした南関東のホープだ。10月の寛仁親王牌で早くもGI初出場を経験。積極的な走りで存在をアピールした。11月小倉F1では無傷の3連勝でS級初優勝を達成。3日間とも最終バックを取るロングスパートで内容も素晴らしいかった。磨きをかけたスピードで長走路を駆け抜ける。

平山 和樹(岐阜 125期 S2)

中部期待の新星だ。8月オールスター競輪でGIデビューすると、3日目からの補充で出走した10月寛仁親王牌は2着でビッグ初連対を果たした。12月末のヤンググランプリに向けて、状態を確実に上げている。持ち味のスピードを生かしたカマシ、まくりは迫力満点。仕掛けがはまれば格上相手でも一発がある。

擬定審組表



2025年12月3日現在



大宮BigBankで息詰まる攻防 26年の初戦を迎える吉性優作!!

北日本勢は中野慎詞の走りに期待が集まる。ナショナルチームで世界を舞台に活躍しているスピードスター。本業の競輪はビッグの準決勝が壁になつているものの、あと一步のところまできている。飛躍を誓う26年の大事な初戦。ワールドクラスのスピードで席卷しよう。佐藤友和は弟子の中野との連係を心待ちにしている。25年は後半戦に入つて一気に調子を上げた。鋭い決め脚はまだまだ健在だ。

和田圭も差し脚は冴えている。11月競輪祭では2連対。直線の長い当地なら展開不問で突っ込んでくる。

3年連続のS級S班を決めた眞木同
が関東のエースとして君臨。25年は練習
中の落車で大けがを負つたため、1月を
走れず大きく出遅れたが、26年は年頭か
ら飛ばしていく。栃木同士の坂井洋は十
気が上がる。眞杉の番手が巡ってくれば
勝機は高まる。

佐々木悠葵は前年の76周年記念の覇
者。決勝は寺崎浩平の先行をまくりで仕
留めている。9月当地F-Iでも優勝を飾
るなど、バンクとの相性は抜群。大会連
覇を目指して突き進む。

地元埼玉勢は総力を結集。武藤龍生
宿口陽一、森田一郎らが力を合わせて牙
城を守る。

豊富な戦力を誇る関東塾
眞杉匠が貫禄を示す!!

機動型手薄な南関東勢
佐々木龍が差し脚發揮

古性優作、寺崎浩平の近畿S班コンビがシリーズをリードする。古性の26年はここから始動。25年のGⅠはすべて決勝に進出するなど、年間を通して圧巻のパフォーマンスを披露した。最強のオールラウンダーとして、主役は譲らない。今後は寺崎との連係が増えるのが確実。寺崎の良さを最大限に引き出して、きつちり決める。寺崎は8月オールスター競輪で悲願のGⅠ初制覇。タイトルホルダーとなつても競走スタイルに変わりはない。近畿ラインの先頭で果敢に攻める。山田久徳は11月競輪祭の準決勝で古性のまわりに続いて2着に入り、4年ぶり2度目。のGⅠ優出を果たした。ここも古性や寺崎との連係から勝ち上がりを狙う。中部勢は24年ヤンググラントリーグ優勝者の纏纏洸翔がハツスルしそうだ。

連係の精度を上げる
近畿S班コンビが魅せる

鼻息が荒い荒井崇博

九州勢はタレントがそろっている。なかでも荒井崇博の存在感が際立つてゐる。11月競輪祭は惜しくも準Vだったが、キャリアハイのシーズンを過ごした。悲願のG-I制覇へ向け、スタートダッシュを決めたい。北津留翼は相変わらず破壊力抜群の攻めを見せてゐる。競輪祭は一次予選を走るも2着でファンを沸かせた。岩谷拓磨は落車のけがでリズムを崩していたが、ここに来て急復調している。本来のスピードを發揮できれば好勝負だらう。市橋司優人も一戦ごとに状態を戻してゐる。

野田源一は九州同士でも普段から連係せず、自分で戦うスタイルを貫いてゐる。狙いすましたまくり一発に警戒したい。

阿竹智史は目立った活躍こそないが、レースさばき、差し脚は堅実だ。混戦になればなるほど真価を発揮する。

中四国は少数精銳の陣容
松浦悠士が再スタート